

文教大学情報学部 社会調査ゼミナール研究報告

サッカーと野球の関心状況とその変遷

2006年2月

情報学部 広報学科 3年

大井 章弘

目次

第1章 研究の概要	2
1. 1 研究の背景と目的	
1. 2 研究の方法	
(1) 進捗経緯	
(2) 調査の概要	
1. 3 成果の概要	
第2章 研究の成果	
2. 1 回答者の概要	5
2. 2 サッカーと野球の観戦状況	6
(1) テレビ視聴度合と海外移籍についての考え	
(2) スタジアム観戦	
2. 3 競技への印象	9
(1) 競技経験	
(2) 競技者への印象	
(3) 競技への印象	
2. 4 競技への関心	14
(1) 関心の変化	
(2) 好きなチームと好きな選手の対応関係	
2. 5 プロ野球改革の印象	16
第3章 まとめと今後の課題	18
(1) まとめ	
(2) 今後の課題	
参考文献	20
単純集計結果	21

第1章研究の概要

1. 1 研究の背景と目的

健康のため、ダイエットのため、勝負のためなど、スポーツを行う目的は1つではない。人それぞれが、さまざまな目的のために汗を流している。

近年、日本人のスポーツ実施率は上昇を続けている。スポーツを行う人が増えているので、スポーツに関する調査を行うことは社会的にも意味のあることだと考えられる。そこで、日本で2大スポーツといわれるサッカーと野球について、人々がどのように関わりあっているのかを調査した。この2つのスポーツを比べることは、サッカー人気の上昇と野球人気の下降を検証する意味もある。

サッカーは常にチーム数の増加を続け、地域密着のチーム経営が行われている。現在は、J1が18チーム、J2が12チームとなっている。さらに先日、愛媛FCのJ2昇格が決まり、来季は13チームとなる。これは1993年にリーグ発足した時の10チームから大幅に増えている。そして、国際化と言う面を見てみると、W杯に加え、今年からクラブ世界一決定戦が日本で行われることに決まった。残念ながら日本のチームが出場することはできなかったが、Jリーグ初期からのスターと言える三浦和良選手が出場し、大会を盛り上げてくれた。

その一方で、野球は50年ぶりに新規球団が設立されたが、チーム数は一向に増えていない。Jリーグのように、アマチュアリーグの上位チームが条件をクリアすれば昇格できるなどのシステムがない。プロ選手が母校へ行って指導することすら、少し前までは許されなかったほどだ。国際化の面でも、サッカーに大きく遅れをとっている。3月にはプロ選手が参加する初めてのW杯が開催されるが、開催時期や利益配分の問題などの問題があり、成功するかどうかは不透明である。クラブチームでは、今年からアジアチャンピオンシップが始まった。日本チームの試合は全試合中継されたが、盛り上がりには欠けていたと思う。

このように正反対とも言える競技背景から、関心度や競技に対する印象などにはどのような違いがあるのだろうか。これらを明らかにすることを意図して調査した。

1. 2 研究の方法

(1) 進捗経緯

- ・ 6月 研究テーマの決定
- ・ 7月 討論
- ・ 9月 調査票作成
- ・ 10月 調査票完成
 調査票の配布・回収
- ・ 11月 集計・単純集計結果の報告
- ・ 12月 研究結果報告

(2) 調査の概要

・ 調査の意図

スポーツをする人とならない人ではスポーツ関心度に違いが出るのだろうか。

好きなマンガに影響を受けるのかどうか。

サッカーをしている人と野球をしている人で印象に違いが出るのだろうか。

現在は野球よりサッカーの方に人気があるのだろうか。

国内リーグよりも海外リーグの方が興味のある人が多いのではないか。

好きなスポーツチームと好きな選手は一致しないのか。

・ 調査対象者

文教大学生（写真論 約140名、コンピュータと通信 約40名）

・ 調査方法

授業時間内でのアンケート調査

・ 主な質問項目

今までのスポーツ経験

スタジアムでの観戦経験

テレビ中継の視聴頻度

好きなサッカーと野球のマンガの有無

サッカーと野球の競技者の印象

サッカーと野球の関心度

サッカーと野球の環境の比較

好きなチームと選手の対応関係

・依頼数 約190枚

回収数 175枚

1. 3 成果の概要

- ・今まで、部活やサークルでスポーツの経験がある人は約85%となっており、相当数に上がることが分かった。
- ・サッカーと野球の競技経験の比較では、サッカーを定期的に行っていた人の割合がわずかに多いだけで、両者に顕著な差は見られない。
- ・テレビ中継の視聴頻度は、サッカーの場合は日本代表、野球の場合は国内プロ野球が最も視聴されている。野球の場合、メジャーリーグ番組自体は多いが見る人は少ない。
- ・海外移籍については、サッカーの方が野球よりも推奨する傾向が強い。
- ・好きなマンガは、サッカーと比べて野球のみある人が多かった。さらに、どちらもあ
る人は全体で最も多かった。
- ・競技を行っている人への印象について、サッカーと野球のいずれも女性のほうがよい
印象を持っていることが分かった。
- ・現在、関心があるのはサッカーが多かった。
- ・さらに、5年前と現在の比較ではサッカーへ変化する人が多く見られた。
- ・プロ野球改革について、サッカーのみ興味がある人はどちらも興味がない人よりも認
知度は高かった。
- ・改革によって、野球に関心がある人では人気が上昇すると考えている人が多く、そう
なって欲しいという願望も強いと考えられる。
- ・サッカーと野球の競技経験や好きなマンガの傾向から、これらは現在のサッカー人気
とは関係がないといえる。さらに、近年のプロ野球におけるテレビ中継の視聴率は低
下しており、それが野球人気低下の要因となっていると思われる。

第1章 研究の成果

2. 1 回答者の概要

回収数は175枚で、湘南キャンパスの学生を対象としている。回答標本は無作為抽出で作成してはいたないために、母集団から見て標本に偏りを生じる可能性がある。そこで回答者の分布を、表2-1-1と表2-1-2で確認しておく。表2-1-1の学年別の分布では、湘南キャンパスの学生に比べて回答者の1年生と4年生の割合が少ない。また表2-1-2の性別の分布では、湘南キャンパスの学生に比べて回答者の男子の割合が高く、女子は低くなっている。これらの偏りは、回答者全体の分布にはそれなりの影響を与える可能性があり、解釈には注意が必要である。しかしクロス集計やグループ平均などの層化を行った集計では、影響は限定されると考えられる。

表2-1-1 回答者と母集団の比較

	1年	2年	3年	4年	無回答	計
回答者	15.4 (27)	42.3 (74)	39.4 (69)	2.3 (4)	0.6 (1)	100.0 (175)
湘南キャンパス学生	24.4 (747)	26.1 (799)	23.7 (727)	25.8 (790)	— (—)	100.0 (3063)

(注) 母集団は湘南キャンパス学生(2005.10末時点)である。

表2-1-2 回答者と母集団の比較

	男性	女性	計
回答者	62.9 (110)	37.1 (65)	100.0 (175)
湘南キャンパス学生	56.5 (1730)	43.5 (1333)	100.0 (3063)

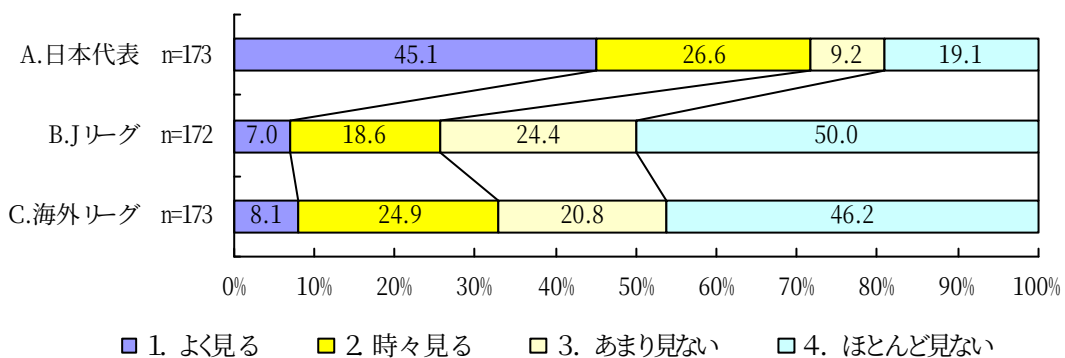
(注) 母集団は湘南キャンパス学生(2005.10末時点)である。

2. 2 サッカーと野球の観戦状況

(1) テレビ視聴度合と海外移籍についての考え

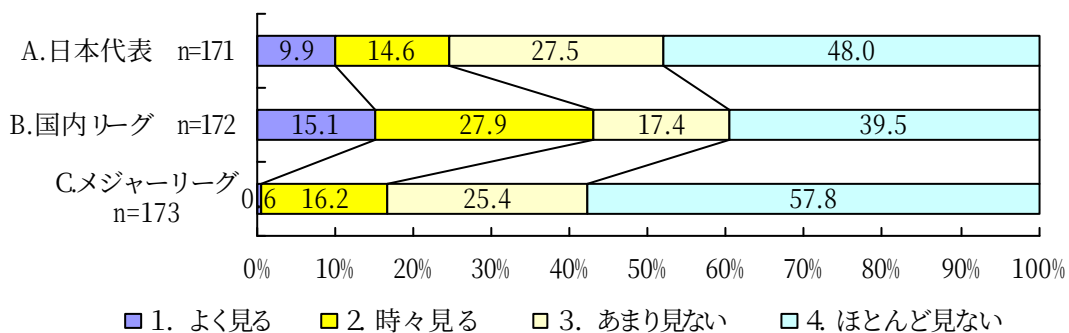
まず、サッカーと野球のテレビ視聴度合を比較する。サッカーの場合を図2-2-1に示した。日本代表、Jリーグ、海外リーグで見ると日本代表の中継をよく見る人が約45%で最も多かった。時々見る人も合わせると約72%となり、関心が高いことが分かる。逆にJリーグ中継を見る人は海外リーグを見る人よりも少ない結果となった。

図2-2-1 サッカーのテレビ視聴度合



同様に野球の場合を図2-2-2に示した。日本代表、国内リーグ、メジャーリーグで見ると、国内リーグをよく見る人が約15%で最も多かった。逆にメジャーリーグをよく見る人は約1%で、あまり視聴されていないことが分かった。さらに、野球は代表の試合が少ないにも関わらず、よく見る人が約10%いた。

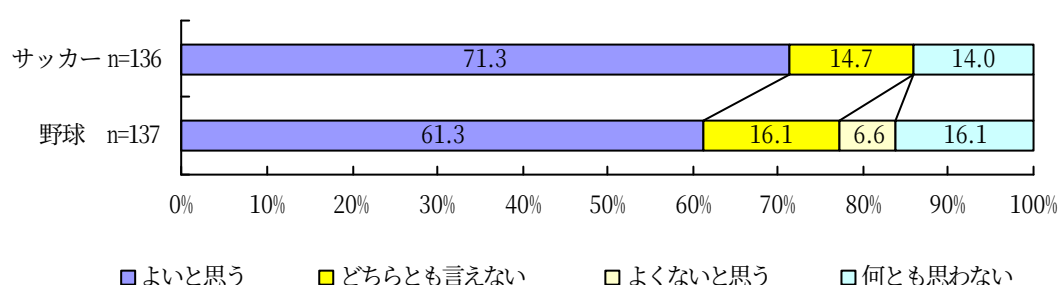
図2-2-2 野球のテレビ視聴度合



それぞれのテレビ視聴頻度の比較をしてみる。日本代表の場合、サッカーでは約72% 見る人がいるのに対して、野球の場合は約25%となっている。同様に、国内リーグでは野球、海外リーグではサッカーを見る人が多くなっている。つまり、サッカーは国際的な試合が好まれているが、野球はあまりその傾向はないと言える。

次に、図2-2-3では競技別の海外移籍に対する考えを示した。サッカーでは海外移籍してもよいと思う人が7割いるのに対し、野球では6割にとどまっている。さらに、よくないと答える人はサッカーの0%に対し、野球は約7%いる。

図2-2-3 競技別の海外移籍に対する考え

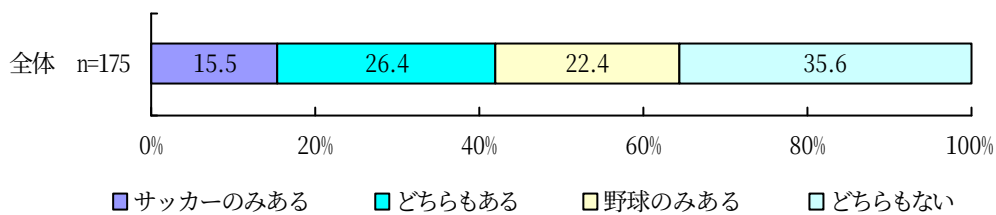


テレビ中継視聴頻度と海外移籍に対する考えを比べる。すると、海外リーグ人気が大きいサッカーでは、海外リーグ移籍に肯定的な人が多い。さらに、サッカーは日本代表の人気も大きい。海外リーグに移籍した選手がいても、日本代表の試合で見られることが肯定的な意見を生み出しているのかもしれない。逆に、野球では約7%の人が海外移籍はよくないと考えている。これは、メジャーリーグに移籍するとメディア露出が減り、日本代表の試合もあまりないので、テレビで見る機会が激減してしまうことが原因と考えられる。

(2) スタジアム観戦

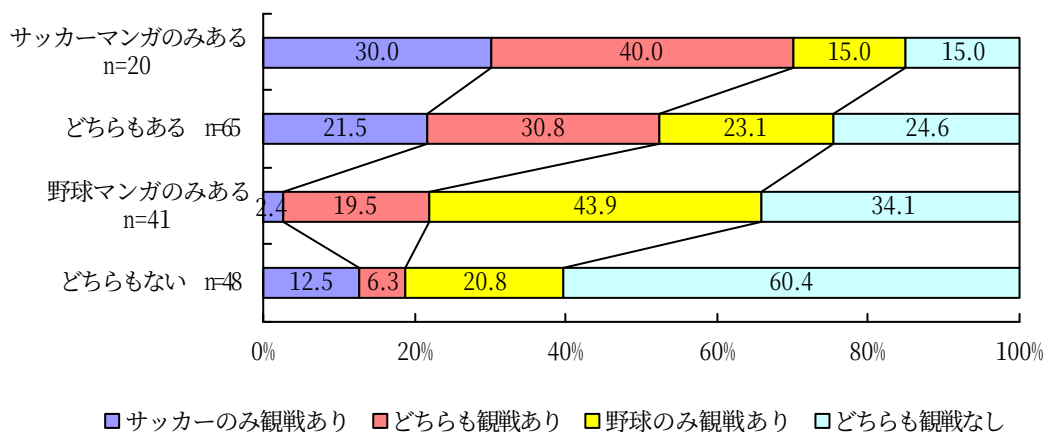
まず、スタジアム観戦の有無を図2-2-4に示す。どちらも観戦したことがない人を除くと、どちらもあるという人が約26%で最も多かった。次に野球のみが約22%となった。

図2-2-4 スタジアム観戦の有無



次に、好きなマンガの有無とスタジアム観戦の関係を示したのが図2-2-5である。まず、好きなサッカーや野球のマンガがないグループでは、いずれかのスタジアムに行ったことがある人が約40%となった。どちらもあると答えた人の観戦率は約75%なので、好きなマンガの有無がスタジアム観戦に影響を与えていると言える。さらに、サッカーマンガのみある人はサッカー観戦率が約70%、野球マンガのみの人は野球観戦率が約63%となり、それぞれ高くなっている。よって、好きなマンガの競技ほど実際にスタジアムで観戦する人が多いことが分かった。

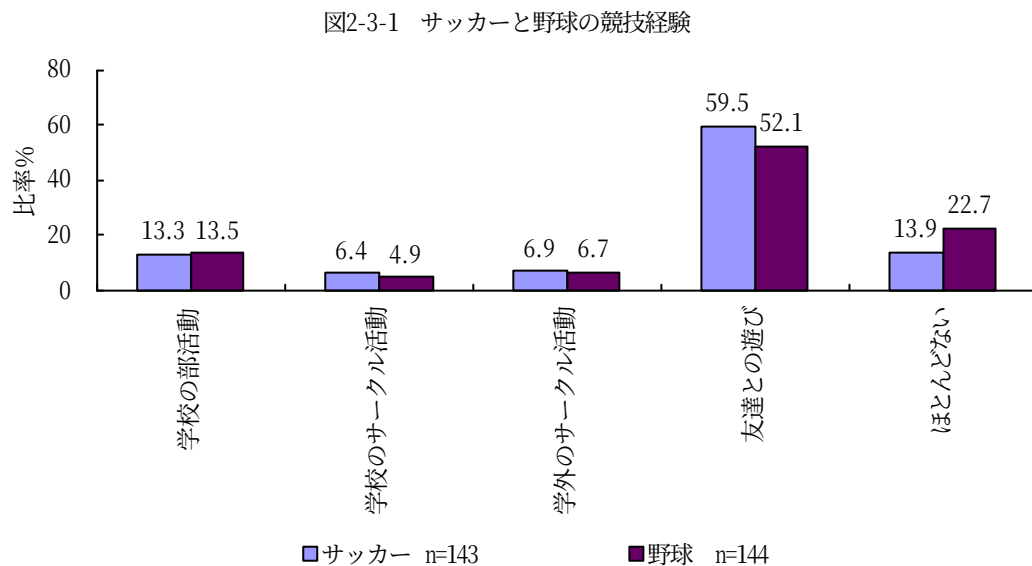
図2-2-5 好きなマンガの有無別スタジアム観戦度 (χ²乗***)



2. 3 競技への印象

(1) 競技経験

実際に競技の経験があるかについて図2-3-1に示した。すると、サッカーでは約60%、野球では約52%が友達との遊びでの競技経験があることが分かった。さらに女子サッカー、女子野球ともに部として存在することが少ないために、女性で「学校の部活動」と答える人はほとんどいなかった。ここから分かることは、競技経験の割合はあまり変わらないので、サッカーや野球の関心度との関係はあまりないといえる。

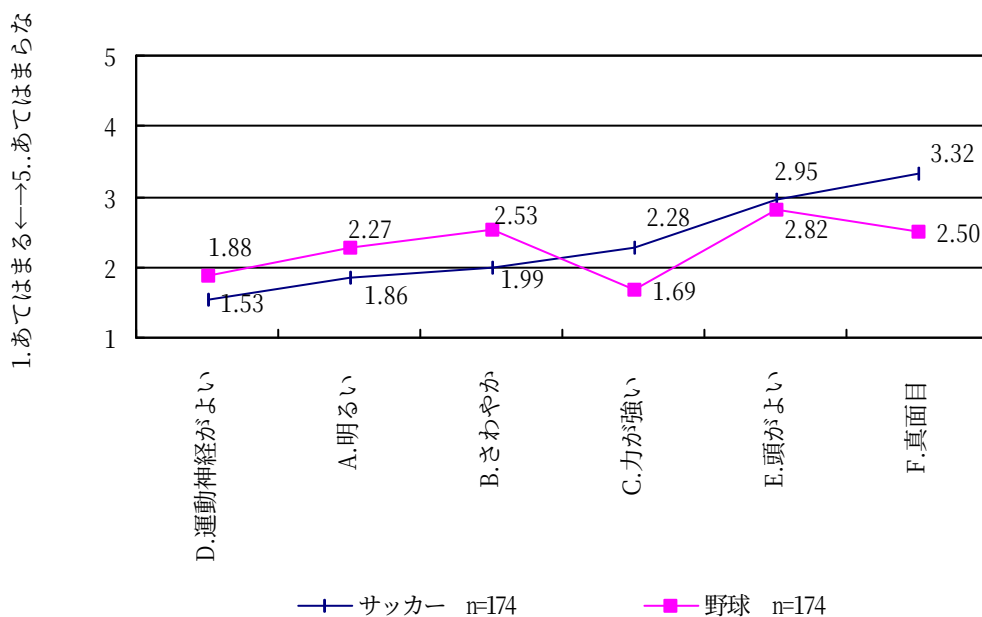


(2) 競技者への印象

まず、平均の値の説明を「A.明るい」の項目を例にとって考える。サッカーと野球の競技に対する印象を、競技別に「1.あてはまる」から「5.あてはまらない」の5段階で評価してもらう。これを、回答者全体の平均で表したものが平均の値である。

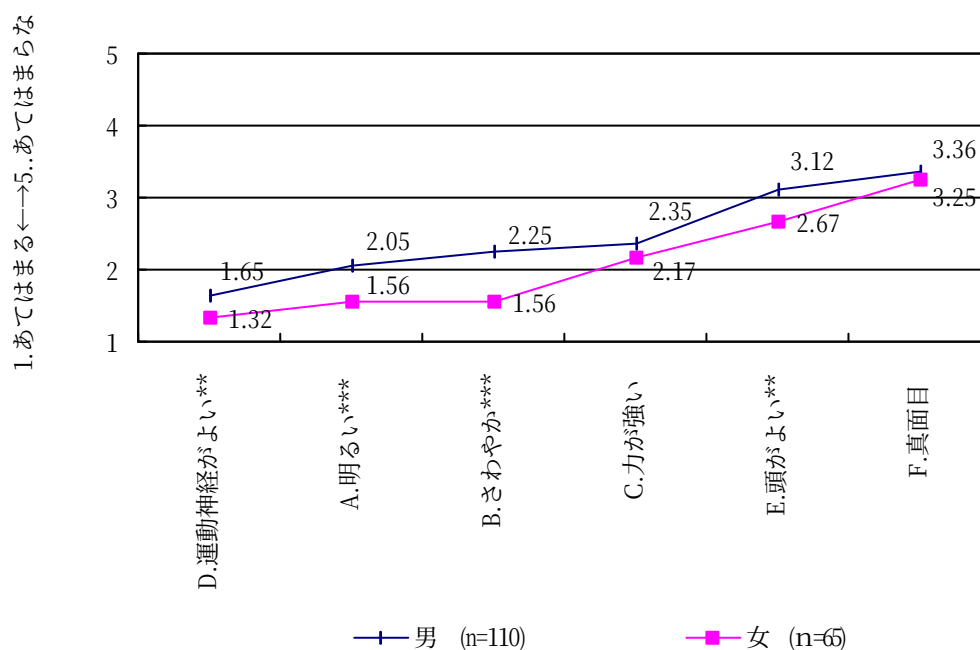
ここでは、サッカーと野球の競技者の印象について、平均の値を図2-3-2に示した。全体的に見ると、サッカーの「真面目」以外の全てにおいてあてはまると答える人が多かったことが分かる。つまり、どちらの競技の経験者であったとしても、人々に与える印象はよいということが分かる。「真面目」の項目で両者に差が出たのは、規律の厳しさの違いがあると考えられる。それは、高校野球では甲子園に出てくる選手はほとんど坊主頭であるのに対し、高校サッカーではそのような習慣はないといった点である。

図2-3-2 サッカーと野球の競技者に対する印象



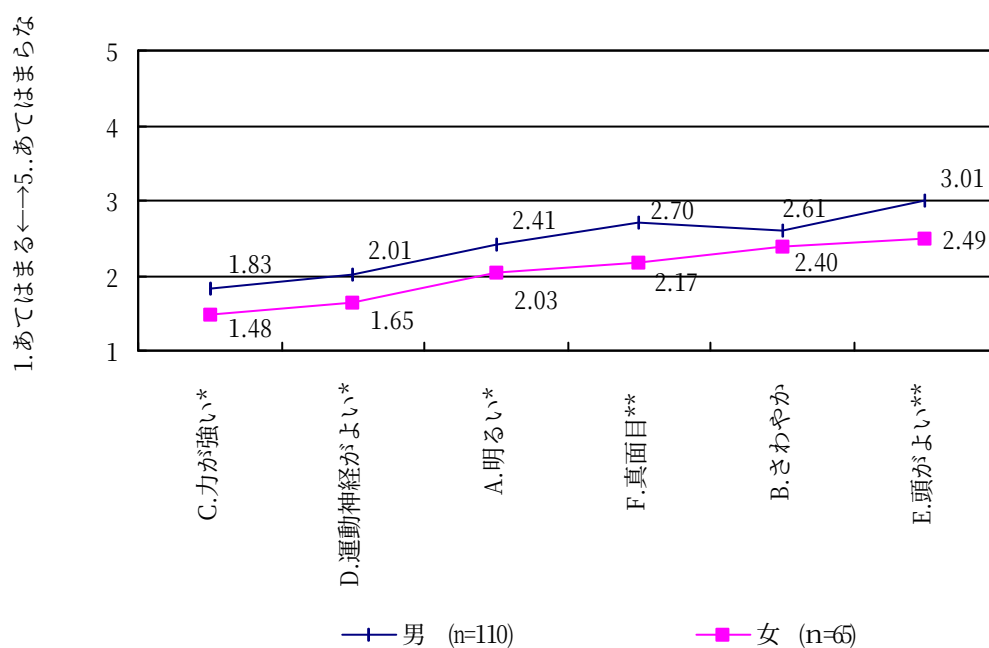
さらに、性別でグループを2つに分け、それぞれで競技者への印象について平均の値を調べた。サッカー競技者への印象を示したのが図2-3-3である。全体的に見て、女性は男性よりも競技者に対してよい印象を持っている。中でも有意差があるのが、「運動神経がよい」、「明るい」、「さわやか」、「頭がよい」という項目になっている。最も違いが出たのが「さわやか」の項目で、男女差が約0.7ポイントとなった。さらに、「真面目」の項目ではあてはまらないよりの数値が男女ともに表れた。

図2-3-3 男女別のサッカー競技者に対する印象



同様に、図2-3-4では野球競技者への印象を示した。こちらも、女性のほうが男性よりも競技者に対してよい印象を持っている。そして、有意差がある項目は「さわやか」以外のすべての項目となっている。さらに、大きな男女差としては「真面目」と「頭がよい」で約0.5ポイント差となった。

図2-3-4 男女別の野球競技者に対する印象



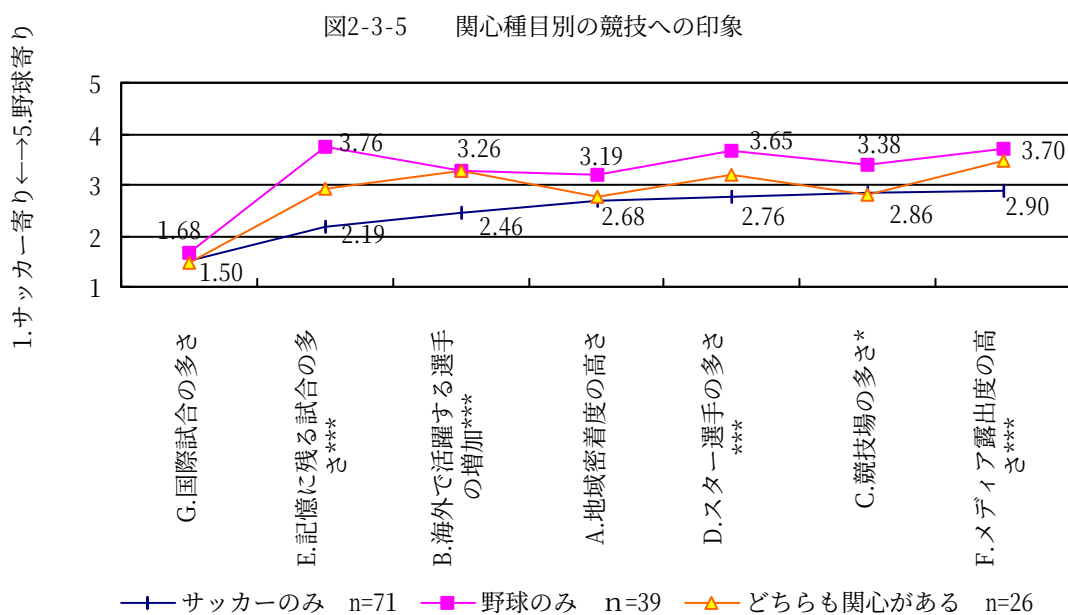
サッカーと野球の場合を比べてみて、あてはまる割合の高い項目が全然違っていたことが分かった。しかし、その中でも「頭がよい」の項目はどちらもあてはまらない割合が強く、スポーツと頭のよさに関連は見られなかった。そして、サッカーの場合はよい印象とあまりよくない印象で波があるが、野球の場合は安定していることが分かる。男女差で調べた結果、全ての項目で男性よりも女性のほうがあてはまると答える人が多かった。これは、男性に比べて女性は競技経験者が少なく、競技者の実情を知らないことが多いと予測される。よって男性の場合は主観的、女性の場合は客観的な意見が多く集まった結果だといえる。

(3) 競技への印象

まず、平均の値の説明を「A.地域密着度の高さ」の項目を例にとって考える。サッカーと野球の競技に対する印象を関心のある競技でグループ化し、「1.サッカー寄り」から「5.野球寄り」の5段階で評価してもらう。これを、回答者全体の平均で表したものが平均の値である。

ここでは、サッカーと野球それぞれに興味のある人を対象に、競技の印象を調査した。その平均値を求めた結果を、図2-3-5に示す。全体的に見ると、サッカーのみ関心のある人はサッカー寄り、野球のみ関心のある人は野球より、どちらも興味のある人はその中間となった。その中で、「G.国際試合の多さ」についてはどちらもサッカー寄りに強く傾いている。さらに、この項目で「やや野球」「野球」と答える人は1人もいなかったため、誰もがサッカーの方が国際試合の多さを感じている。野球よりとなった項目には「D.スター選手の多さ」、「C.競技場の多さ」、「E.メディア露出度の高さ」がある。これらは、野球が国内リーグに人気があることを反映していると言える。

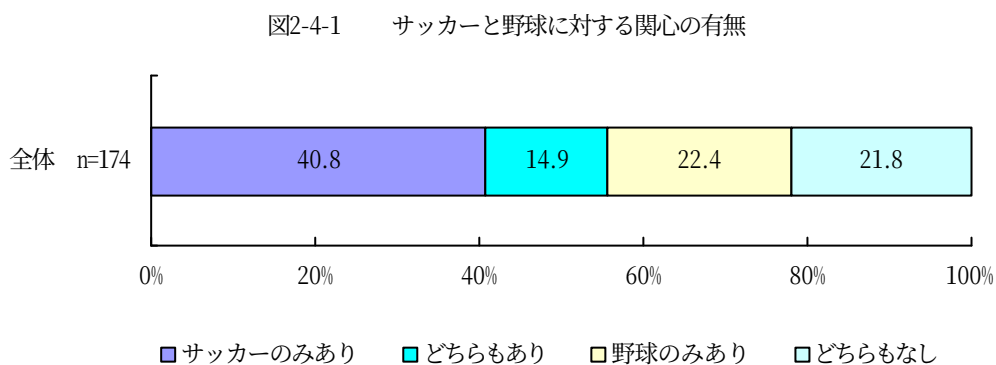
続いて、サッカーのみと野球のみのグループで最も差が顕著なのは、「E.記憶に残る試合の多さ」である。その差は1.5ポイント以上ある。これにより、関心のある競技への印象が強くなるということが分かる。有意差は基本的にあるが、「G.国際試合の多さ」と「A.地域密着度の高さ」の項目であらわれている。つまり、自分の好きなスポーツは好意的に評価されていることが分かる。



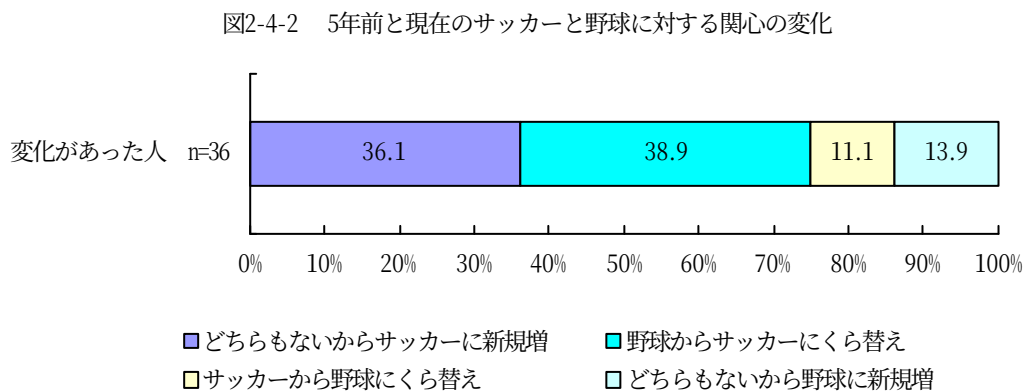
2. 4 競技への関心

(1) 関心の変化

現在、サッカーと野球について関心があるかについての調査を図2-4-1に示す。すると、サッカーのみ関心がある人が最も多く約41%、続いて野球のみが約22%と続いている。これらに、どちらも興味のある人も加えると全体の8割弱となり、2大スポーツの関心度の高さが伺える。



まず、関心の変化があったという人が全体の約15%となった。その人たちを対象に、どのように関心の変化があったかを示したのが図2-4-2である。最も多かったのが野球からサッカーに変化した人で、約39%となった。さらに、どちらも関心がないからサッカーに変化した人が約36%で続いた。この2つを合わせると全体の75%となり、最近野球に関心を持つ人よりサッカーに関心を持つ人が増えているということがわかる。

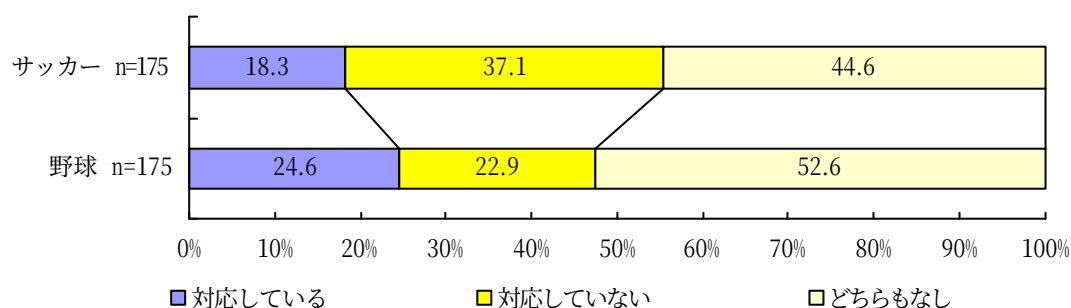


(2) 好きなチームと好きな選手の関係

自由記入で、好きなチームと好きな選手について答えてもらい、その対応関係を競技別に示したのが図2-4-3である。サッカーの場合、どちらもない人を除いて考えると、チームと選手が対応していない人が約37%で多かった。そして、約55%の人が好きなチームまたは好きな選手がいることが分かる。同様に野球の場合、チームと選手が対応している場合が約25%で多かった。延滞として考えると、好きなチームも選手もどちらもない人が約53%となり半数を超えている。

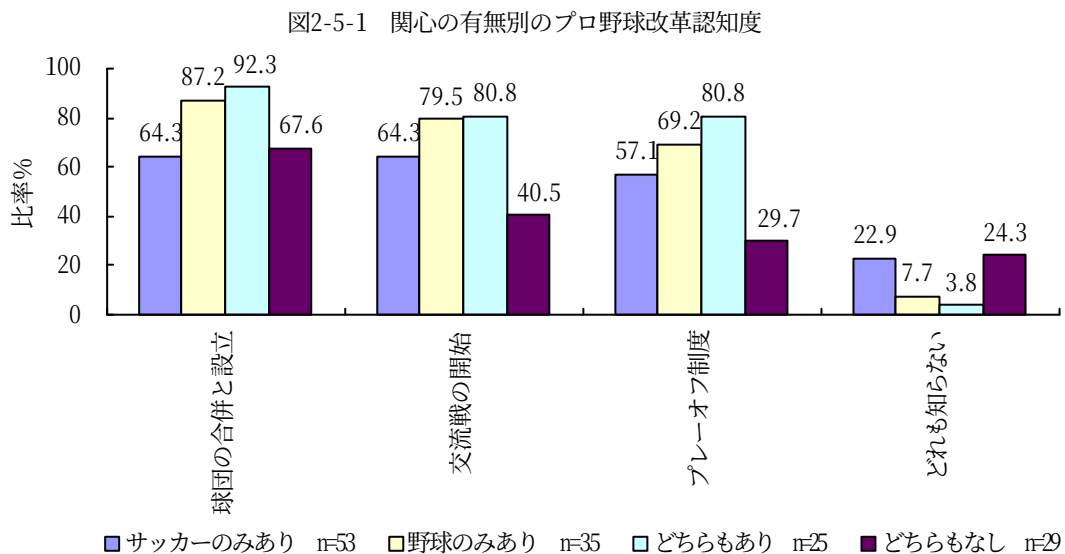
ここから分かることは、サッカーの場合は固定ファンが多くはないが幅広い人に受け入れられていることである。それとは逆に、野球の場合はファン全体の数は多くないが、固定ファンが多いことが分かる。つまり、もっと野球のチーム数が増えるようであればサッカーのように幅広い人に受け入れられると思う。

図2-4-3 好きなチームと好きな選手の対応関係



2. 5 プロ野球改革の印象

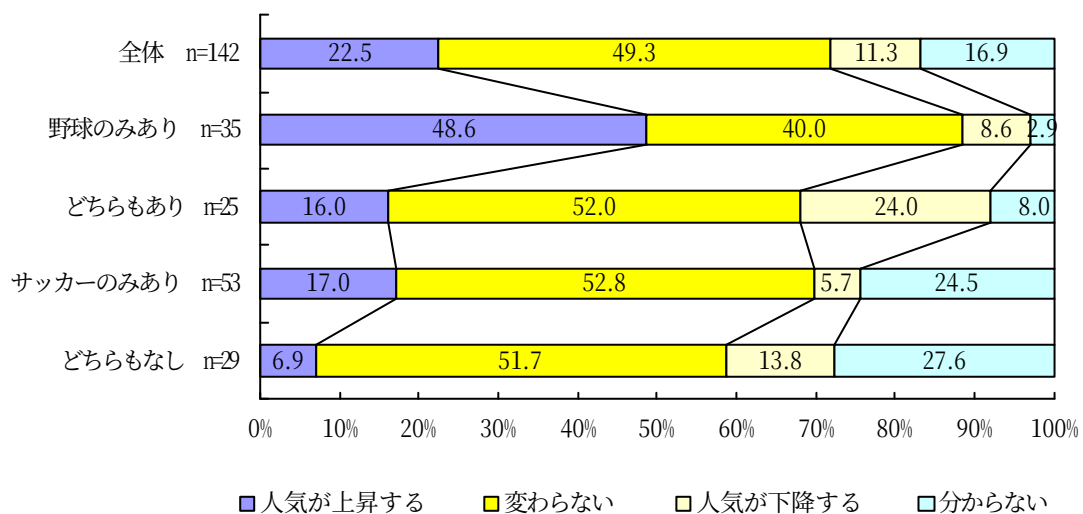
まず、プロ野球改革の認知度について競技への関心別に聞いたのが図2-5-1である。野球のみ興味のある人とどちらも興味のある人ではあまり大きな違いは見られず、全て知っている人も多かった。違いが出たのは、サッカーのみ興味のある人とどちらも興味のない人である。「球団の合併と設立」の項目ではほとんど認知度が変わらない。それに対し、「交流戦の開始」、「プレーオフ制度」の項目ではサッカーのみ興味のある人が大きく上回っている。これは、「球団の合併と設立」は社会問題としてニュースで放送されていた。しかし、他の2つは主にスポーツニュースで取り上げられていたものである。つまり、どちらも興味のない人はスポーツニュースを見る機会は少なく、認知度が低くなったと考えられる。



次に、競技への関心別で改革の印象を聞いたのが図2-5-2である。初めに言えることは、野球に関心がある人の5割近くの人には人気上昇すると答えている。人気下降すると答えた人の約9%を大きく上回っている。サッカーのみ関心のある人は、分からないと答える人が約25%と多かった。しかし、上昇すると答えた人は下降すると答えた人を上回っている。どちらも関心のある人は、上昇すると答えた人と変わらないと答えた人の項目でサッカーのみ関心のある人とあまり変わらなかった。しかしどちらも関心のある人は、下降すると答えた人の割合が、サッカーのみ関心のある人の場合を大きく上回った。どちらも関心がない人は、分からないと答える人の割合以外はどちらも関心がある人と近い。人気上昇すると答えた人の割合も、下降すると答えた人より少なくなっている。

全体を見比べると、人気上昇すると答えているのは、野球のみ関心がある人がかなりの割合を占めている。しかし、実際に人気上昇するにはどちらも関心なしの人に受け入れてもらえる改革をする必要がある。

図2-5-2 関心の有無別のプロ野球改革の印象 (χ²乗***)



第2章 まとめと今後の課題

(1) まとめ

まず、サッカーと野球の違いについて表に示した。

	サッカー	野球
テレビ中継 視聴度合	日本代表が圧倒的に多い。	国内プロ野球が多い。
海外移籍への 考え	賛成の人が多数で、反対する人はいなかった。	賛成は多かったが、反対する人もいた。
スタジアム 観戦	どちらもある人が多い。 野球のみ観戦の人がサッカーのみ観戦の人より多い。	
競技経験	どちらも友達との遊び経験が多い。	
競技者への 印象	運動神経がよいと答える人が多い。 さわやかさで大きな男女差がある。	力が強いと答える人が多い。 真面目さで大きな男女差がある。
競技への印象	国際試合の多さは圧倒的にサッカー寄り 記憶に残る試合の多さで、関心のある競技寄りの回答が多い。	
競技への関心	サッカーのみある人が多い。 5年前と比べて、サッカーに変化する人が多い。	
好きなチーム と選手	好きな選手や好きなチームのある人は多い。 好きなチームと別のチームに、好きな選手がいる人が多い。	好きな選手やチームのある人が少ない。 好きなチームに、好きな選手がいる人が多い。
プロ野球改革	知っている人は少ない。 人気が上昇すると考える人は少ない。	知っている人は多い。 人気が上昇すると考える人は多い。

私が、サッカーと野球で大きな差が3つあると考える。

1つ目は国際化である。国際試合の多さはサッカー大きく上回っている。その影響か、サッカーファンは海外移籍についても認めている傾向が強く、野球ファンはあまり強くない。将来はオリンピックの種目でなくなってしまうので、違う形でもっと世界に広めていなくてはならない。

2つ目は改革への動きだ。国内リーグで比べてみても、Jリーグはリーグ形式やチーム数の増加などの改革に柔軟な姿勢である。しかし、プロ野球では球団数を増やそうという動きもなく昔からの伝統を守ろうとしすぎている。

最後は、テレビ視聴率である。ここではJリーグに比べてプロ野球が大きくリードしている。しかし、最近は平均視聴率が10%を下回る日が多い。サッカーの場合は、以前よりも日本代表の試合で高視聴率を取っている。つまり、プロ野球が視聴率をとっていた時は関心のある人が多かったと考えられる。その視聴率に戻すためにも、国際化や改革を行い、さらにサッカーにはない独自の人気回復策を見つけ、2つの競技が共に発展して欲しいと思っている。

(2) 今後の課題

今回は調査対象者が大学生のみとなってしまったため、年齢における野球からサッカーへの移行を調査することができなかったのが残念だった。高校生や中学生にも調査を行って、大学生との違いを見つけ出したかった。

参考文献

Jリーグ公式サイト <http://www.j-league.or.jp/>

日本野球機構サイト <http://www.npb.or.jp/>

内閣府世論調査サイト 体力・スポーツに関する世論調査
<http://www8.cao.go.jp/survey/h15/h15-sports/index.html>

笹川スポーツ財団 スポーツライフ・データ2004
http://www.ssf.or.jp/dat/ld_04.pdf

ネットリサーチ「マクロミル」
<http://www.macromill.com/>

スポーツ関心度と価値観調査

情報学部 広報学科 八ッ橋ゼミ 大井 章弘

2005. 10

回収数 175枚

問1. あなたは今までスポーツの部活やサークルに所属していた経験がありますか。(1つだけ○) n=175

1. ある 85.1	2. ない ⇒問3へ 14.9
------------	-----------------

問2. あなたは今までにサッカーと野球の競技経験がありますか。(いくつでも○) n=149

	1. 学校の部活動	2. 学校のサークル活動	3. 学外のサークル活動	4. 友達との遊び	5. ほとんどない	6. 無回答
A. サッカー	15.4	7.4	8.1	69.1	16.1	3.4
B. 野球	14.8	5.4	7.4	57.0	24.8	3.4

問3. あなたの出身都道府県にサッカーや野球のプロチームがありますか。(1つだけ○) n=175

1. サッカーのみ 29.1	2. 野球のみ 0.6	3. どちらもある 40.0	4. どちらもない 28.6
5. 無回答 1.7			

問4. あなたはプロサッカーやプロ野球の試合を直接スタジアムで観戦したことがありますか。(1つだけ○) n=175

1. サッカーのみある 15.4	2. 野球のみある 26.3	3. どちらもある 22.3
4. どちらもない 35.4	5. 無回答 1.7	

問5. あなたのサッカーと野球のテレビ中継を見る頻度を教えてください。(項目ごとに1つだけ○) n=175

	1. よく見る	2. 時々見る	3. あまり見ない	4. ほとんど見ない	5. 無回答
A. サッカー (日本代表)	15.4	26.3	9.1	18.9	1.1
B. サッカー (Jリーグ)	6.9	18.3	24.0	49.1	1.7
C. サッカー (海外リーグ)	8.0	24.6	20.6	45.7	1.1
D. 野球 (日本代表)	9.7	14.3	26.9	46.9	2.3
E. 野球 (国内プロ野球)	14.9	27.4	17.1	38.9	1.7
F. 野球 (メジャーリーグ)	0.6	16.0	25.1	57.1	1.1

問6. 現在の住まいでは、有料テレビ放送 (ケーブルテレビや衛星放送) に加入していますか。(1つだけ○) n=175

1. 加入している 25.7	2. 加入していない ⇒問8へ 74.3
----------------	----------------------

問7. その有料テレビ放送で、スポーツ専門チャンネルを見ることができますか。(1つだけ○) n=45

1. 自分を見る 33.3	2. できるが自分は見ない 42.2	3. できない 22.2	4. 無回答 2.2
---------------	--------------------	--------------	------------

問8. あなたは好きなサッカーまたは野球のマンガがありますか。(1つだけ○) n=175

1. サッカーのみある 11.4 2. 野球のみある 23.4 3. どちらもある 37.7
4. どちらもない ⇒問10へ 27.4

問9. そのマンガによって、サッカーや野球への興味は増しましたか。(1つだけ○) n=127

1. 増した 63.0 2. 変わらない 31.5 3. 減った 0.8 4. 分からない 4.7

問10. 昨年からはまっているプロ野球改革について、知っていることはありますか。(いくつでも○) n=175

1. 球団の合併と設立 73.1 2. 交流戦の開始 64.0 3. パリーグのプレーオフ制度 56.6
4. どれも知らない ⇒問12へ 16.6 5. 無回答 1.7

問11. これらの改革によってプロ野球人気はどうかと思いますか。(1つだけ○) n=146

1. 人気が上昇する 21.9 2. 人気が下降する 11.0 3. あまり変わらない 47.9
4. 分からない 16.4 5. 無回答 2.7

問12. サッカーや野球をやっている人についての印象を教えてください。(項目ごとに1つだけ○) n=175

①. サッカーをやっている人について

	1. あてはまる	2. ややあてはまる	3. どちらとも言えない	4. あまりあてはまらない	5. あてはまらない	6. 無回答
A. 明るい	38.9	35.4	20.0	1.1	1.1	3.4
B. さわやか	38.9	26.9	25.7	3.4	1.7	3.4
C. 力が強い	24.0	32.6	30.9	6.9	2.3	3.4
D. 運動神経がよい	56.0	32.0	8.6	0.6	2.9	0.0
E. 頭がよい	10.3	17.1	44.0	18.3	7.4	2.9
F. 真面目	4.0	11.4	42.3	27.4	11.4	3.4

②. 野球をやっている人について

	1. あてはまる	2. ややあてはまる	3. どちらとも言えない	4. あまりあてはまらない	5. あてはまらない	6. 無回答
A. 明るい	20.6	39.4	28.6	6.3	1.7	3.4
B. さわやか	21.1	25.7	30.9	14.9	4.0	3.4
C. 力が強い	49.1	30.9	12.0	2.3	1.1	4.6
D. 運動神経がよい	40.0	34.9	16.6	4.0	1.1	3.4
E. 頭がよい	9.1	28.6	36.6	15.4	6.9	3.4
F. 真面目	21.1	26.9	32.6	10.9	5.1	3.4

問13. 現在、あなたはサッカーと野球のどちらに関心がありますか。(1つだけ○) n=175

- | | | |
|-----------------------------|------------|-------------------|
| 1. サッカー 40.6 | 2. 野球 22.3 | 3. どちらも関心がある 14.9 |
| 4. どちらも関心がない ⇒4ページのF1へ 21.7 | 5. 無回答 0.6 | |

問14. 5年前と比べて、あなたのサッカーや野球への関心度は変化しましたか。(1つだけ○) n=138

- | | | |
|---------------------------|-------------------------|---------------|
| 1. サッカーから野球に変化 2.9 | 2. 野球からサッカーに変化 10.1 | 3. 変わらない 73.9 |
| 4. どちらも関心がないからサッカーに変化 9.4 | 5. どちらも関心がないから野球に変化 3.6 | |

<サッカーに関する調査>

問15. あなたはJリーグ、海外リーグ、高校サッカーのどれに最も興味がありますか。(1つだけ○) n=138

- | | | | |
|--------------|---------------|----------------|------------------|
| 1. Jリーグ 15.9 | 2. 海外リーグ 45.7 | 3. 高校サッカー 11.6 | 4. どれも興味がない 23.9 |
| 5. 無回答 2.9 | | | |

問16. あなたは現在、サッカーをどの程度行いますか。(1つだけ○) n=138

- | | | | |
|----------------|---------------|---------------|---------------|
| 1. 月に1回未満 23.2 | 2. 月に1～4回 9.4 | 3. 月に5～8回 1.4 | 4. 月に9回以上 1.4 |
| 5. 全く行わない 63.0 | 6. 無回答 1.1 | | |

問17. 日本人選手が海外リーグに移籍することについてどう思いますか。(1つだけ○) n=138

- | | | |
|-----------------|----------------|-------------------|
| 1. よいと思う 70.3 | 2. よくないと思う 0.0 | 3. どちらとも言えない 14.5 |
| 4. 何とも思わない 13.8 | 5. 無回答 1.4 | |

<野球に関する調査>

問18. あなたは国内プロ野球、メジャーリーグ、高校野球のどれに最も興味がありますか。(1つだけ○) n=138

- | | | |
|------------------|-----------------|--------------|
| 1. 国内プロ野球 29.7 | 2. メジャーリーグ 11.6 | 3. 高校野球 33.3 |
| 4. どれも興味がない 21.0 | 5. 無回答 4.3 | |

問19. あなたは現在、野球をどの程度行いますか。(1つだけ○) n=138

- | | | | |
|----------------|---------------|---------------|---------------|
| 1. 月に1回未満 15.9 | 2. 月に1～4回 8.7 | 3. 月に5～8回 3.6 | 4. 月に9回以上 2.2 |
| 5. 全く行わない 68.8 | 6. 無回答 0.7 | | |

問20. 日本人選手がメジャーリーグに移籍することについてどう思いますか。(1つだけ○) n=138

- | | | |
|-----------------|----------------|-------------------|
| 1. よいと思う 60.9 | 2. よくないと思う 6.5 | 3. どちらとも言えない 15.9 |
| 4. 何とも思わない 15.9 | 5. 無回答 0.7 | |

問2 1. サッカーと野球の比較についてお答えください。(項目ごとに1つずつ○) n=138

	1. サッカー	2. ややサッカー	3. 同じくらい	4. やや野球	5. 野球	6. 無回答
A. 地域密着度の高さ	15.2	22.5	30.4	20.3	8.7	2.9
B. 海外で活躍する選手の増加	10.9	24.6	39.1	13.0	8.7	3.6
C. 競技場、球場の多さ	10.1	20.3	34.1	25.4	7.2	2.9
D. スター選手の多さ	12.3	15.2	35.5	21.0	13.8	2.2
E. 記憶に残る試合の多さ	21.7	19.6	26.1	20.3	10.1	2.2
F. メディア露出度の高さ	11.6	6.5	39.1	28.3	12.3	2.2
G. 国際試合の多さ	60.9	21.0	15.9	0.0	0.0	2.2

F 1. 性別 n=175

1. 男 62.9	2. 女 37.1
-----------	-----------

F 2. 学年 n=175

1. 1年 15.4	2. 2年 42.3	3. 3年 39.4	4. 4年 2.3	5. 無回答 0.6
------------	------------	------------	-----------	------------

F 3. 学科 n=175

1. 広報 43.4	2. 経営情報 21.7	3. 情報システム 33.1	4. 国際コミュニケーション 0.6
5. 国際関係 0.6	6. 短大 0.0	7. その他 ()	8. 無回答 0.6

F 4. 血液型 n=175

1. A型 33.7	2. B型 23.4	3. O型 27.4	4. AB型 12.6	5. 分からない 1.7
6. 無回答 0.6				

F 5. 住まい n=175

1. 一人暮らし 61.7	2. 家族と同居 33.7	3. その他 4.0	4. 無回答 0.6
---------------	---------------	------------	------------

F 6. 好きなプロサッカー、プロ野球チームがあれば記入してください。(国内海外問わず1つずつ) n=175

サッカー… 1. 好きな選手とチームが対応 18.3	2. 好きな選手とチームが非対応 37.1	3. どちらも ない 44.6
----------------------------	-----------------------	--------------------

F 7. 好きなプロサッカー選手、プロ野球選手がいれば記入してください。(国内海外問わず1人ずつ) n=175

野球… 1. 好きな選手とチームが対応 24.6	2. 好きな選手とチームが非対応 22.9
3. どちらも ない 52.6	